

柿本朝臣人麻呂の歌一首

二六六番

近江あふみの海うみ 夕波ゆふなみ千鳥ちどり 汝なが鳴なけば 心こころもしのに
古いにしへ思おもほゆ

志貴皇子の御歌一首

二六七番

むささびは 木末こぬれもと求むと あしひきの 山やまのさつ
をに あひにけるかも

長屋王の故郷の歌一首

二六八番

我が背子せこが 古家ふるへの里さとの 明日香あすかには 千鳥ちどり鳴く
なり 妻待つままちかねて